

電気料金の見直しについて

東北電力フロンティア株式会社（本店：宮城県仙台市、取締役社長：岡信 慎一、以下 当社）は、2024年4月からの発電側課金制度[※]の導入等により託送料金に変更されること等を踏まえ、2024年4月より電気料金の見直しを実施いたします。

当社といたしましては、引き続き、効率的な施策展開を図るとともに、少しでもお客さまのご負担軽減につながるよう、電気の効率的なご利用方法等のご提案に取り組んでまいります。

※発電側課金制度とは、系統を効率的に利用し、再エネ導入拡大に向けた系統増強を効率的かつ確実にを行うため、小売電気事業者が負担している送配電設備の維持・拡大に必要な費用について、発電事業者の一部の負担を求め、より公平な費用負担とする制度であり、2024年4月より導入されるものです。

【電気料金見直しの概要】

（1）対象プラン

当社のすべての電気料金プランが対象となります。

- ✓ スマートでんき（スマート省エネでんき[※]）
- ✓ シンプルでんき with Netflix
- ✓ シンプルeでんき
- ✓ 水の子カラ～あきたeでんき～

※スマート省エネでんきの省エネ達成による還元（省エネオプション）の適用期間は2024年4月分までとなります。2024年5月分からは「スマートでんき」として電気のご契約が継続されます。

（2）実施時期

2024年5月分（2024年4月検針日以降）の電気料金から見直しいたします。

（3）見直しの内容

料金単価の引き下げ等を行います。

各プランの見直し内容については、別紙にてご確認ください。

以 上

電気料金の見直しについて

2024年2月13日
東北電力フロンティア株式会社



1. 電気料金見直しの概要

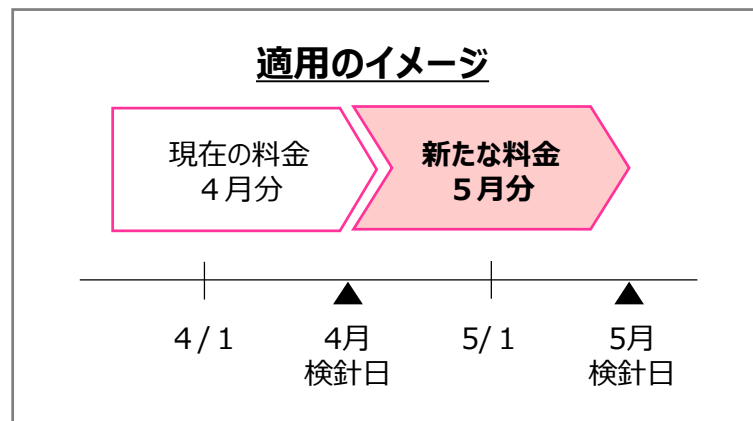
- 当社は、2024年4月からの発電側課金制度の導入等により託送料金に変更されること等を踏まえ、2024年4月より電気料金の見直しを実施いたします。

【電気料金見直しの概要】

(1) 対象プラン

当社のすべての電気料金プランが対象となります。

スマートでんき（スマート省エネでんき※1）
シンプルでんき with Netflix
シンプルeでんき
水のチカラ～あきたeでんき～



(2) 実施時期

2024年5月分(2024年4月検針日以降)の電気料金から見直しいたします※2。

(3) 見直しの内容

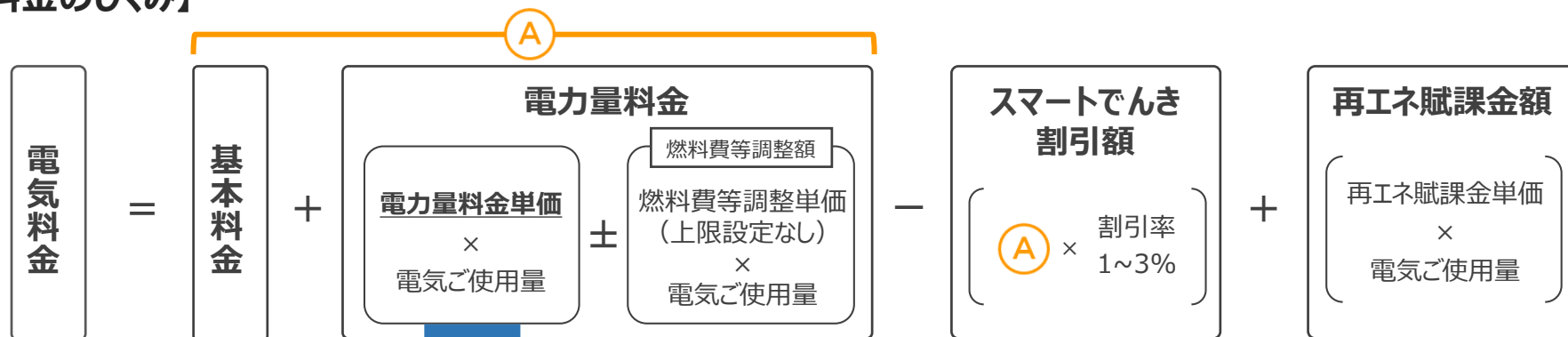
各プランの具体的な見直し内容は、次頁以降をご確認ください。

- ※1 スマート省エネでんきの省エネ達成による還元（省エネオプション）の適用期間は2024年4月分までとなります。2024年5月分からは「スマートでんき」として電気のご契約が継続されます。
- ※2 引越し等にともない、新たに電気を使用される場合は、2024年4月分の料金についても、新たな料金が適用される場合があります。詳細は、見直し後の基本約款および個別約款をご確認ください。

2. 「スマートでんき」の見直しについて

■ 「スマートでんき」については、電力量料金単価の引き下げを行います。

【料金のしくみ】



今回の見直し内容

電力量料金単価の引き下げ (東北電力の従量電灯Bと同値に見直し※1)

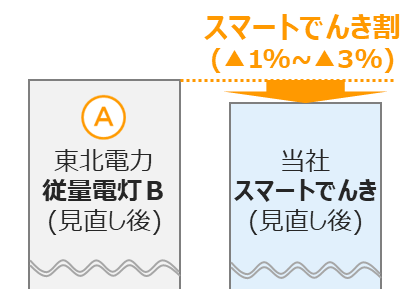
見直し後も引き続き、東北電力の従量電灯Bよりもおトクにご利用いただけます※2

【料金単価】

(税込)

		現行単価	新単価	見直し幅
基本料金(10Aあたり)		369.60円	369.60円	-
電力量料金 (1kWhあたり)	最初の120kWhまで	29.71円	29.62円	▲0.09円
	120kWhをこえ300kWhまで	36.46円	36.37円	▲0.09円
	300kWhをこえる	40.41円	40.32円	▲0.09円

見直し後のイメージ※2

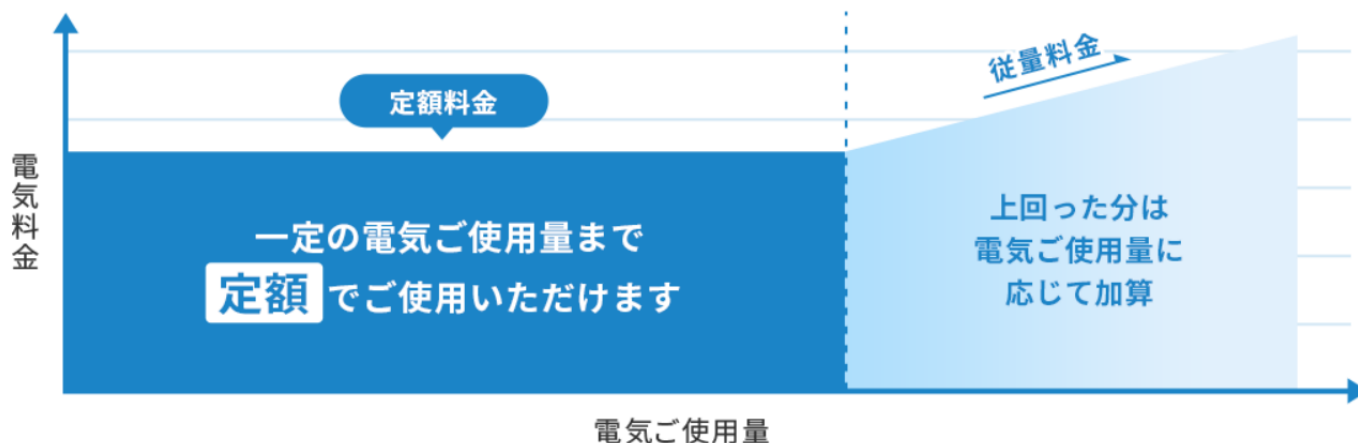


※1 電力量料金単価は、東北電力の公表資料 (2024年2月6日) にもとづく変更届出内容の従量電灯Bの電力量料金単価と同値になります。
 ※2 当社の燃料費調整には、上限価格の設定はありません。燃調費調整単価の算定に用いる平均燃料価格が、従量電灯Bに設定されている上限価格を上回る場合は、従量電灯Bと比較して燃料費調整単価が高くなるため、従量電灯Bよりも料金が高くなる場合がございます。

3. 「シンプルでんき with Netflix」の見直しについて

- 「シンプルでんき with Netflix」については、定額料金単価および従量料金単価の引き下げを行います。

【料金のしくみ】



【料金単価】

(税込)

シンプルでんき with Netflix		現行単価	新単価	見直し幅
Sプラン [定額電力量 150kWh]	定額料金	6,100.00円	6,000.00円	▲100.00円
	従量料金	47.87円	47.78円	▲0.09円
Mプラン [定額電力量 250kWh]	定額料金	9,800.00円	9,700.00円	▲100.00円
	従量料金	46.87円	46.78円	▲0.09円
Lプラン [定額電力量 400kWh]	定額料金	15,600.00円	15,500.00円	▲100.00円
	従量料金	45.87円	45.78円	▲0.09円

※ 定額料金は1契約あたりの単価、従量料金は定額電力量をこえる電気ご使用量1kWhあたりの単価となります。

※ 料金には、再生可能エネルギー発電促進賦課金を含み、燃料費調整制度に基づく燃料費調整を行いません。

4. 「シンプルeでんき」の見直しについて

- 「シンプルeでんき」については、2024年4月からの電気料金算定方法の見直し等について、お知らせしておりました([2023年12月1日公表](#))。
- このたび、2024年4月からの発電側課金制度の導入等により託送料金に変更されること等を踏まえ、2023年12月1日お知らせの料金単価から引き下げを行います。

【料金単価】

(1) 従量制プラン

(税込)

シンプルeでんき		現行単価 ^{※3}	新単価 ^{※3}	見直し幅	12/1公表単価
使った分だけ(電化)	従量料金 ^{※1}	40.00円	39.14円	▲0.86円	39.20円
使った分だけ(ガス併用)	従量料金 ^{※1}	43.00円	42.51円	▲0.49円	42.60円

(2) 定額制プラン・・・2024年4月1日以降の新規お申込みの受付を停止

(税込)

シンプルeでんき		現行単価 ^{※3}	新単価 ^{※3}	見直し幅	12/1公表単価
定額350(電化) [定額電力量 350kWh]	定額料金 ^{※2}	13,600.00円	13,379.60円	▲220.40円	13,400.00円
	従量料金 ^{※2}	40.00円	39.14円	▲0.86円	39.20円
定額150(ガス併用) [定額電力量 150kWh]	定額料金 ^{※2}	6,000.00円	5,937.67円	▲62.33円	5,950.00円
	従量料金 ^{※2}	43.00円	42.51円	▲0.49円	42.60円

※1 従量料金は、電気ご使用量1kWhあたりの単価となります。

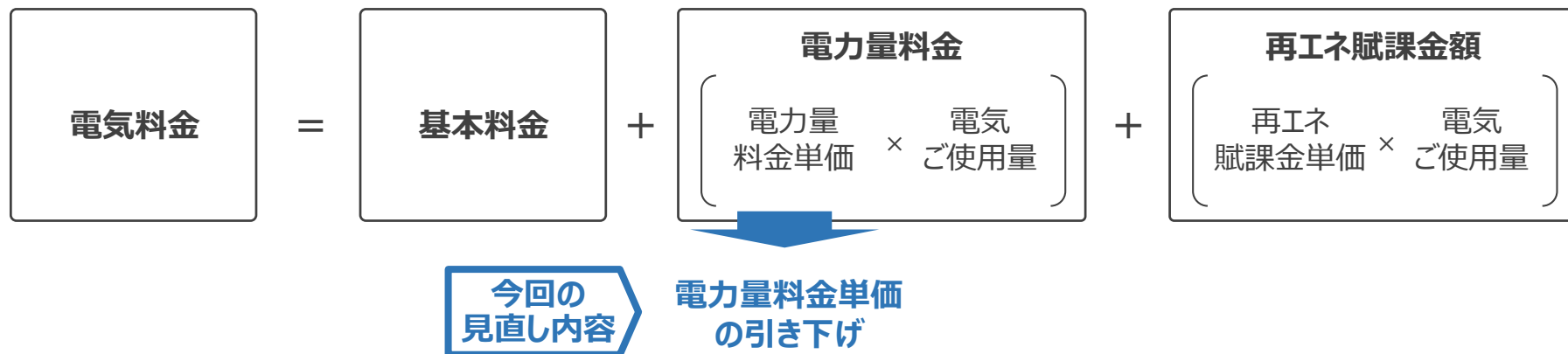
※2 定額料金は、1契約あたりの単価、従量料金は、定額電力量をこえる電気ご使用量1kWhあたりの単価となります。

※3 現行料金には、再生可能エネルギー発電促進賦課金を含み、燃料費調整制度にもとづく燃料費調整を行いません。新料金には、再生可能エネルギー発電促進賦課金を含まず、燃料費調整制度にもとづく燃料費調整を行います。

5. 「水のチカラ～あきた e でんき～」の見直しについて

- 「水のチカラ～あきた e でんき～」については、電力量料金単価の引き下げを行います。

【料金のしくみ】



【料金単価】

	現行単価	新単価	見直し幅
基本料金(10Aあたり)	184.80円	184.80円	—
電力量料金(1kWhあたり)	36.46円	31.61円	▲4.85円

(税込)

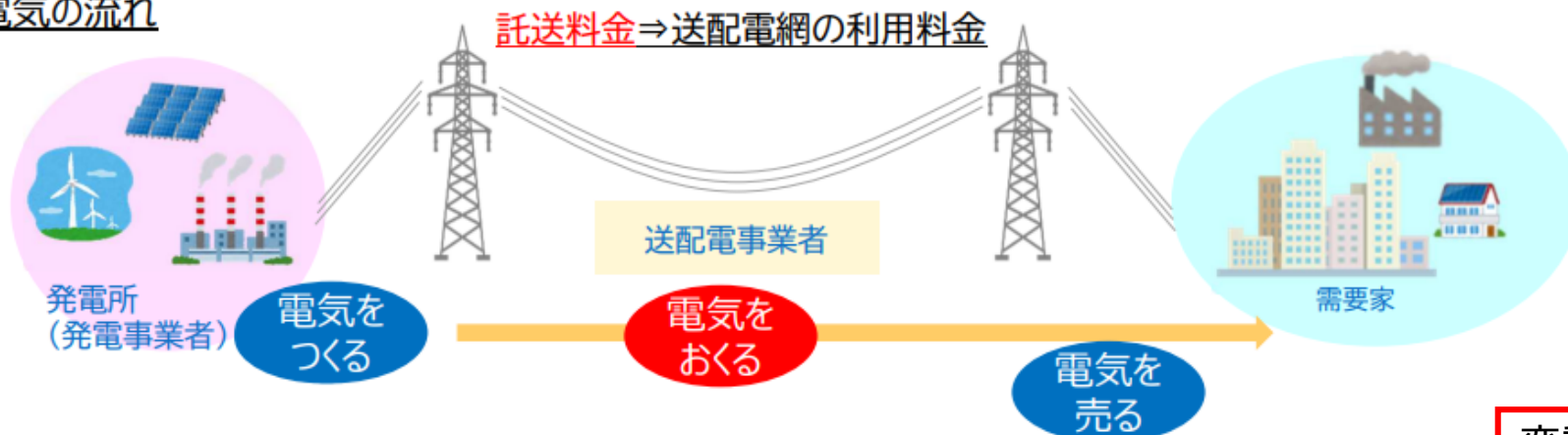
※ 本プランは、燃料費調整制度に基づく燃料費調整を行いません。

(参考) 託送料金

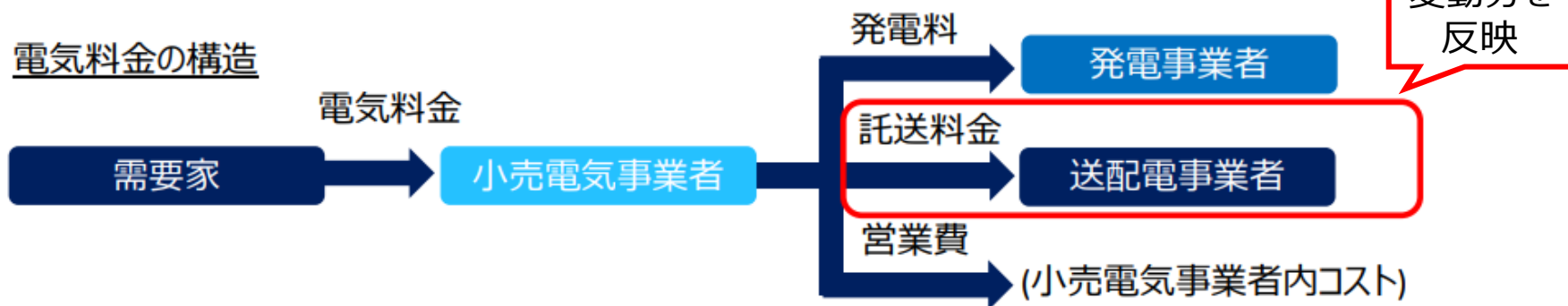
- 託送料金とは、お客さまに電気をお届けする際に、小売電気事業者等が一般送配電事業者に支払う送配電網の利用料金であり、電気料金に含まれています。

<出典：東北電力ネットワーク レベニューキャップ制度の概要>

電気の流れ



電気料金の構造

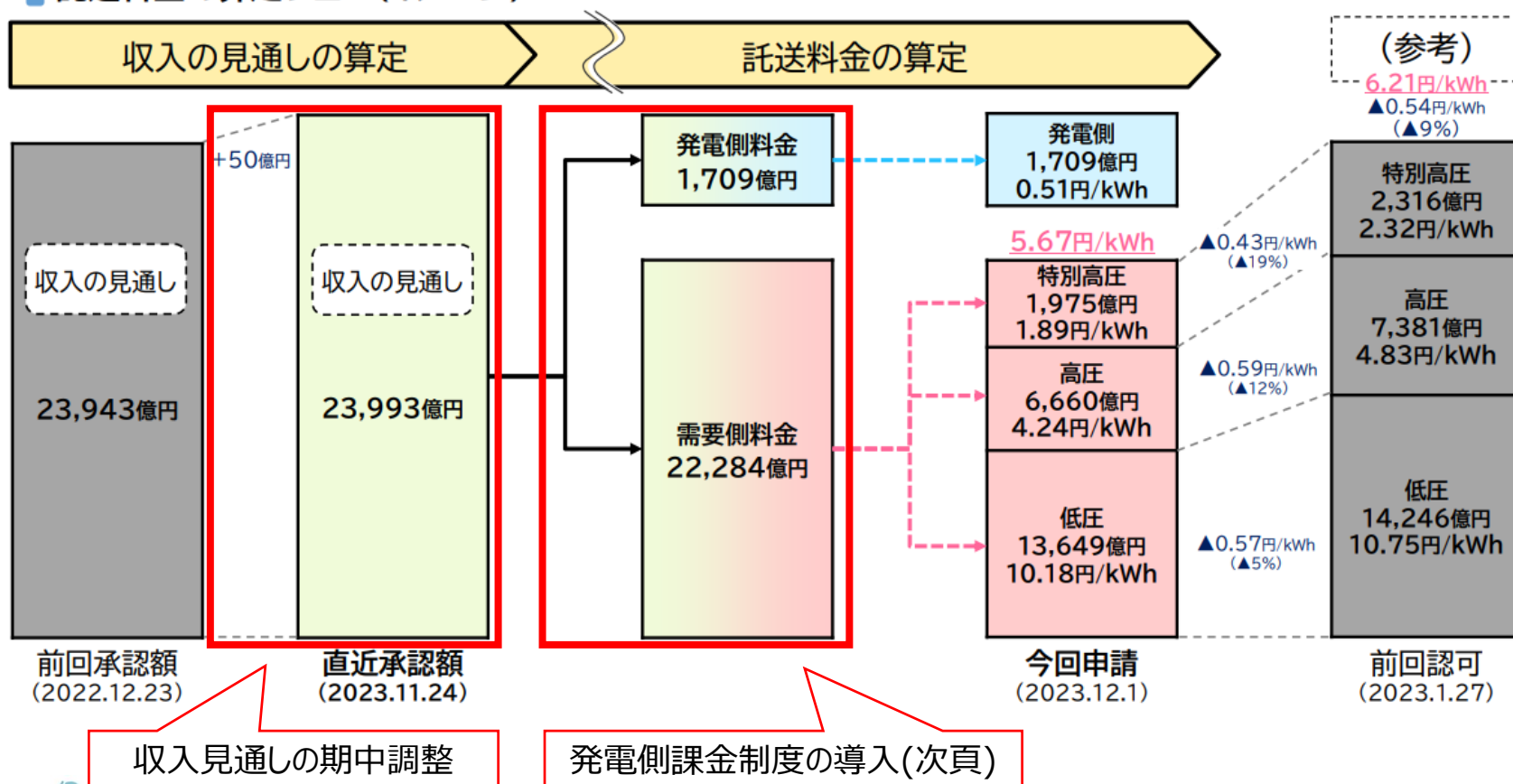


(参考) 託送料金改定の概要

- 一般送配電事業者は、2023年11月24日に国の承認を得た「託送供給等に係る収入の見通しの期中調整」を反映しつつ、発電側課金制度の導入に向けた託送料金の改定を同年12月に国へ申請し、本年4月より実施することについて、本年1月17日に経済産業省より認可を得ております。
- 当社では、一般送配電事業者の託送料金の変更等を踏まえ、2024年4月から小売電気料金の見直しを行います。

託送料金の算定フロー(イメージ)

<出典：東北電力ネットワーク 託送供給等約款の変更認可申請の概要>



(参考) 発電側課金制度の概要

- 発電側課金制度とは、システムを効率的に利用し、再エネ導入拡大に向けた系統増強を効率的かつ確実に行うため、小売事業者が負担している送配電設備の維持・拡大に必要な費用について、発電事業者の一部の負担を求め、より公平な費用負担とする制度であり、2024年度より導入が予定されております。

<出典：2023年4月制度設計専門会合 発電側課金について中間とりまとめ概要>

<現行の託送料金制度>

小売事業者（需要側）に100%課金



<発電側課金の導入後（イメージ）>



※数値はあくまでイメージ